とぴあ国際音楽祭 関連公演 2025

ムノツイル・ブラス

シュトラウス
STRAUSS

MNOZIL BRASS

あの話題のブラスバンドが北とぴあにやってくる！

©Maria Frodl

トランペット：トーマス・ガンシュ／ロベルト・ローター／ローマン・リンドベルガー
トロンボーン：レオンハルト・パウル／ゲアハルト・フュッスル／ゾルタン・キス
テューバ：ヴィルフリート・ブランドシュテッター

2025
11.20［木］ 19:00開演 18:15開場

北（ほく）とぴあ さくらホール

JR京浜東北線王子駅北口／東京メトロ南北線王子駅5番出口より徒歩2分

全席指定（税込）	
	一般／S席￥6,000 A席￥4,500
	ほくとぴあメンバーズ※1・北区民※2／S席￥5,400 A席￥4,000
	25歳以下※3／S席￥3,000 A席￥2,300

※1 ほくとぴあメンバーズ：年会費1,500円、どなたでもご入会いただけます。
※2 東京都北区民割引：お一人様4枚まで。取扱いは、ほくとぴあチケットオンライン（WEB/要事前登録）、または北とぴあ1階チケット売場（北区在住を確認できる保険証・免許証などを要提示）のみ。
※3 25歳以下券：入場時に生年月日のわかるもの（保険証、学生証など）を要提示。

※車椅子席：発売日以降に右記主催・問合せ先にてご予約ください（数に限りがあります）。
※未就学児の入場はお断りしております。
※託児サービス［未就学児対象・有料・先着順］：チケット購入後11/13（木）までにイベント保育キッドベンチャーへ☎03-4500-5780（平日10:00〜17:00）または右記コードにてお申し込みください。

託児サービス

発売日 **7.8［火］10:00-**

✦ほくとぴあチケットオンライン
https://p-ticket.jp/kitabunka

✦北とぴあ1階チケット売場（窓口のみ／10:00〜20:00）
臨時休館日18:00まで、全館休館日は休業

✦カンフェティチケットセンター https://www.confetti-web.com
電話 050-3092-0051（平日10:00〜17:00）

ほくとぴあチケットオンライン

主催・問合せ：（公財）北区文化振興財団
03-5390-1221（平日9:00〜17:00）
https://kitabunka.or.jp/

共催：東京都北区　制作：プロ アルテ ムジケ
後援：東京都北区教育委員会
オーストリア大使館／オーストリア文化フォーラム東京

オーストリア 文化 フォーラム
austrian cultural forum

ムノツィル・ブラス プロフィール

©Maria Frodl

トーマス・ガンシュ／トランペット
Thomas Gansch, Trumpet

ムノツィル・ブラス創立メンバーのひとり。1993年の創立時、トーマスはたったの17歳でありながら、その実力はウィーン国立歌劇場管弦楽団で演奏するほどの確かなもの。ところがトーマスはやがてジャズへとのめり込み、今ではオーストリア随一の万能トランペッターとなる。ジャズ、クラシック、そしてその間にあるすべての音楽・・・この男はトランペットで何でも吹きこなす。ステージ上では動きっぱなし、ムノツィル・ブラスのショーのカギ、完璧なタイミングのコメディアンでもある。ムノツィル・ブラスのための作曲も多く、また自らのプロジェクトも手がけ、その活動は多岐にわたる。

ローマン・リンドベルガー／トランペット
Roman Rindberger, Trumpet

ローマンもまた、音楽一家の生まれ。早くから父親と二人の兄弟と共にオーストリア伝統の音楽を奏で、親しんできた。そんな民族音楽のイベントで、この家族はたびたびゲアハルトの家族と出くわすことになる。というのも、ゲアハルトが住んでいたのはごく近所の村だったから。技巧的なパッセージを愛してやまないローマン。スイス製の時計のように極めて正確に精巧にこれらを処理する。しかもこれらのパッセージを論理的に解明する理論派でもある。だから、ブラス音楽についての知識を得たいと思う者がいたら、迷うことなくローマンに尋ねよう。ステージ上でのローマンは、恋するラテン音楽担当。

ゲアハルト・フュッスル／トロンボーン
Gerhard Füssl, Trombone

ローマン・リンドベルガー家とほとんど隣で生まれ育つ。おかげで、幼少の頃から父親と共にブラス音楽に大いに親しんで育つ。メンバー内では一番の人気者。なぜかといえば、彼がグループの会計係。彼からギャラを渡してもらえるからね。そう、ゲアハルトは最も人徳が高い素晴らしい高貴な人物、彼のいうことは絶対、間違いない。みんなが彼を敬い、丁重に接し、彼も我々にとっても親切(ほとんどの場合にね)。

ヴィルフリート・ブランドシュテッター／テューバ
Wilfried Brandstötter, Tuba

ヴィルフリートの華麗なる音楽歴はリコーダーから始まった。やがて少年合唱団に加わり、更にはヴァイオリン、トランペットへの変遷を経て、ついにテューバを手にしてから心の平安を手に入れることとなる。スピードが早い、遅いなどということはヴィルフリートには関係ない。彼にとっての人生は、ゆったり流れる大河のごとく。ゆえに、彼が求めるのは、コンサートホールを満たすすべての人が、彼のテューバが醸し出す、低く心地よい振動をただ味わってくれること。ヴィルフリートにとっては、どうして多くの人がめまぐるしい高い音域のメロディに熱中するかなんて到底分からないことなのである。

ロベルト・ローター／トランペット
Robert Rother, Trumpet

ドナウ川沿い、トーマスと同じメルクの生まれ。道理でふたりとも幼い頃からポルカ、ワルツ、マーチに精通しているわけだ。このオーストリアの伝統音楽を熱く厳しくふたりに授けたのは著名な指揮者だったトーマスの父親。ムノツィル・ブラス初期の頃からレパートリーの要である。ロベルトのお得意は、泣きのメロディ。彼が吹いている姿を想像するだけで誰もが涙ぐむほど感動的だ。あり得ないほどの美しさと、あり得ないほどのビブラートは、ロベルトのみがなせる技。トーマスとは相反し、ステージ上ではほとんど動かない。代わりに穏やかな落ち着きをステージにもたらす。

レオンハルト・パウル／トロンボーン
Leonhard Paul, Trombone

ウィーン近郊メードリング出身。ほかのメンバーと違い、家族の中で唯一初めての音楽家となる。ただし叔父は画家で、ウィーンの立派な家には必ず彼の絵が飾ってあるほどの著名な存在。最近、我々はレオンハルトのことが少し心配だ。なぜなら、彼は陰のある役にのめり込む傾向がだんだん強くなっているから。ほかのメンバーはカッコいいヒーロー役を争って演じたがるのに、レオンハルトだけはそんな争いには加わらない、進んで悪役を買って出るんだ。彼、大丈夫かな?

ゾルタン・キス／トロンボーン
Zoltán Kiss, Trombone

ひとつだけ確かなことは、ゾルタンはオーストリアの伝統音楽にはまったく馴染みなく育ったこと。なぜなら彼はハンガリー、ブダペスト生まれだから。ポーランドへの道すがら、ゾルタンはウィーンに立寄り、我々に出会う。以来、クワドリンガル(四カ国語で吹く)トロンボーン奏者として大活躍。メンバーのなかで流行っているゲームは、これでもか、という難しい楽譜をゾルタンに渡して、彼が吹けるかどうか試してみること。しかしゾルタンはいつでも必ず吹いてしまうんだ、しかもものすごく上手に!彼のテクニックには我々さえもたびたび呆然とさせられる。ゾルタンが吹けない楽譜を誰がいつ作曲できるか、われわれは(うちうちの)賭けをしてるんだ。

ムノツィル・ブラスのミュージックビデオはこちら
J.シュトラウス2世 オペレッタ《こうもり》序曲より

(公財)北区文化振興財団
ホームページ ▶ https://kitabunka.or.jp/
公式X ▶ @kcf_info

MAP

北とぴあ（ほく）
東京都北区王子1-11-1
JR京浜東北線王子駅北口
東京メトロ南北線王子駅
下車徒歩2分